

令和元年度水防訓練（開催日：令和元年5月12日）

京都市と隣接市町（八幡市、久御山町、長岡京市、大山崎町）で構成している澱川右岸水防事務組合及び桂川・小畑川水防事務組合（管理者 門川大作京都市長）は、近年台風等による大規模な水害が頻発している中、地域を水害から守るための水防活動の技術力向上等を目的として、5月12日に水防訓練を実施しました。



水防工法訓練（自主防災会・洛水高校も参加し水防工法を実施）

当日は30℃を越える暑さの中、9つの水防団による積み土のう工や釜段工等の水防工法訓練のほか、自主防災会による住民避難訓練や女性会による炊き出し訓練など、豪雨による避難を想定した取組も実施しました。

なお、今年は災害時に自らが行動し、水害を防ぐ力を養うことを目的として、洛水高校の生徒や自主防災会の皆さんについても、水防団と一緒に水防工法訓練に参加し、土のうの製作や基本的な積み方を体験していただきました。また、伏見土木事務所による土のう作り体験コーナー等、災害時に役立つ体験コーナーも合わせて開催しました。



訓練本部長（京都市長）による工法査閲



土のう作り体験コーナー（伏見土木事務所）

今後も、訓練を通じて水防団の技術力向上を図るとともに、参加者に水防団・水防活動のPRと防災意識の向上を図り、地域全体で水害の最小化を目指します。